

ワーキング部会報告書

第2部会	A班	開催日	平成26年9月4日(木)	会場	さいわいプラザ6階 大会議室
テーマ	保育ニーズを支えるには ~今後10年の0・1歳の保育ニーズの担い手作り~				
内 容					
○子育てしやすい環境を作るため、企業ができることは何か。					
【企業内コンシェルジュ】					
・子育てに関係する手続きを、保護者に代わって企業が行う。心理的なサポートも行う。					
このような企業を、市政だよりで紹介したらどうか。					
・子育て中の職員にヒアリングを行い、ニーズと制度とのズレなどを把握し、解決を図る。					
【先輩職員・企業のフォロー】					
・産休、育休中に先輩職員との会合を行い、育休復帰に伴う厳しいストレスを緩和する。					
・社内報などにより、育休期間中でも情報共有を図れるようにする。					
・制度があっても職場の同僚の視線が厳しくて利用できないといった、社内風土の改善が必要。					
・人に対応する仕事など、職場によっては休みがとりづらく、フォローが難しいことがある。					
【ハードの整備】					
・事業所内保育の実施					
一社では負担やリスクが大きいのが、企業同士の連携ができないか。					
市の施設、駅前の空きビルの活用は可能か。					